

2023年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー / スポーツ健康 学科  
AT・MT・PH / TR・IN・CO・SB コース

授業科目 (科目ID)	コミュニケーション		担当教員  (実務経験)	今北 雄太  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> スポーツ指導者	
対象年次・学期	1年・集中		必修・選択区分	必修	単位数 2単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	コミュニケーションを通じて、自分自身の課題を抽出し、克服する。				
到達目標	社会でも柔軟に対応できるコミュニケーションスキルの向上及び志向となることを目指す。				
テキスト・ 参考図書等	Reference Book(公益財団法人日本スポーツ協会)				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	レポート 20% 提出物 20% その他 60%(受講姿勢、受講態度等30%、担当所見30%)		
	レポート	20%			
	小テスト	%			
	提出物	20%			
その他	60%				
履修上の 留意事項	プリント・視聴覚機器等を活用しながら進めていきます。、人との信頼関係を築くためのツールとして『コミュニケーション』はとても大切です。社会人に向けての大切な要素を学ぶ期間として、真剣に自分と向き合ってみましょう。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	コミュニケーションとは？	『自分を知ってもらおう！』 自己紹介		
	2		『自分を知ってもらおう！』 問答ゲーム		
	3		『自分を知ってもらおう！』 社会人として必要なコミュニケーションとは？		
	4		『自分を知ってもらおう！』 伝える、褒める、考えを引き出す		
	5	コミュニケーションスキルの向上	『会話を上達しよう！』 第一印象を良くするためには / 聞き上手になるためには		
	6		『会話を上達しよう！』 質問上手になるためには / 信頼関係を築くためには		
	7		『会話を上達しよう！』 盛り上がる話題を選ぶためには		
	8	対他者力を磨こう	コミュニケーションスキル		
	9		リーダーシップスキル		
	10		プレゼンテーションスキル		
	11		ファシリテーションスキル		
	12		その他の対他者スキル		
	13	他自己力を磨こう	コーチの学び、コーチのセルフマネジメント		
	14		コーチの学び、コーチのセルフマネジメント		
15	さまざまな思考法や伝達法				



2023年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー / スポーツ健康 学科  
AT・MT・PH / TR・IN・CO・SB コース

授業科目 (科目ID)	カレッジイベント	担当教員  (実務経験)	今北 雄太  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> スポーツ指導者		
対象年次・学期	1年・集中	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	イベントを楽しく成功させる為の方法をディスカッションを通じ企画する事を目的とする。				
到達目標	誰もが楽しめるイベントを目指す。				
テキスト・ 参考図書等	必要に応じて資料を配布。				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	レポート 20% 提出物 20% その他 60%(受講姿勢、受講態度等30%、担当所見30%)		
	レポート	20%			
	小テスト	%			
	提出物	20%			
	その他	60%			
履修上の 留意事項	プリント・視聴覚機器等を活用しながら進めていきます。、人との信頼関係を築くためのツールとして『コミュニケーション』はとても大切です。社会人に向けての大切な要素を学ぶ期間として、真剣に自分と向き合ってみましょう。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	カレッジイベント内容	イベントの内容説明		
	2	役割分担	執行部、委員、種目担当、種目参加者の決定		
	3	リハーサル	各種目のルール、及び実践確認		
	4	イベント実施	スポーツ大会		
	5	振り返り	レポート作成、提出		
	6	カレッジイベント内容	イベントの内容説明		
	7	役割分担	執行部、委員、種目担当、種目参加者の決定		
	8	リハーサル	各種目のルール、及び実践確認		
	9	イベント実施	スポーツフェスティバル		
	10	振り返り	レポート作成、提出		
	11	カレッジイベント内容	イベントの内容説明		
	12	役割分担	執行部、委員、イベント参加者、展示担当者の決定		
	13	リハーサル	執行部、委員、イベント参加者、展示担当者 当日準備		
	14	イベント実施	学園祭		
15	振り返り	レポート作成、提出			



2023年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー / スポーツ健康 学科  
AT・MT・PH / TR・IN・CO・SB コース

授業科目 (科目ID)	特別研修		担当教員  (実務経験)	土岐 政義		
				有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	アスレティックトレーナー	
対象年次・学期	1年・集中		必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	講義・実習		授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	学校生活や社会人として必要な、コミュニケーションスキル向上を目指す。スポーツ指導者について理解を深める。					
到達目標	社会人としてのコミュニケーションを取ることが出来る。スポーツ指導者とはどのような職業か説明が出来る。					
テキスト・参考図書等	なし					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	%	受講姿勢、受講態度等を総合的に評価する。			
	レポート	%				
	小テスト	%				
	提出物	%				
	その他	100%				
履修上の 留意事項	特になし。					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	オリエンテーション	特別研修の目的、内容について説明			
	2	挨拶練習	気を付け・礼の仕方、発声練習			
	3	感想文記入方法について	記入方法(5W1H、語尾の統一、構成、見栄え)			
	4	スポーツ指導者を目指すにあたり 1	社会人として必要な能力について(コミュニケーション)			
	5	スポーツ指導者を目指すにあたり 2	スポーツ指導者に必要な能力(解剖・生理学、コンディショニング、測定・評価、リハビリテーション、救急処置)			
	6	スポーツ指導者を目指すにあたり 3	業界にはどのような人材が必要とされているか。			
	7	コミュニケーション能力向上講座 1	コミュニケーションの手法			
	8	コミュニケーション能力向上講座 2	コミュニケーションの実践(少数に対するもの)			
	9	コミュニケーション能力向上講座 3	コミュニケーションの実践(多数に対するもの)			
	10	トレーニング・主働筋について 1	トレーニング方法(下半身)、主働筋の暗記			
	11	トレーニング・主働筋について 2	トレーニング方法(上半身)、主働筋の暗記			
	12	全体交流会 1	スポーツリズムトレーニングの実践			
	13	全体交流会 2	スポーツリズムトレーニングの実践			
	14	まとめ	履修主題4～13のまとめ			
15	感想文記入	履修主題4～13の感想文の記入(記入方法の再確認も実施)				

2023年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー / スポーツ健康 学科  
AT・MT・PH / TR・IN・CO・SB コース

授業科目 (科目ID)	見学実習	担当教員  (実務経験)	土岐 政義  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> アスレティックトレーナー		
対象年次・学期	1年・集中	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	講義・実習	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	プロの現場を見学し、今後のトレーナー実習に活かす。				
到達目標	プロの現場を見学し、今後の目指すべき方向性を説明できる。				
テキスト・ 参考図書等	なし				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	受講姿勢、出席状況を評価基準とする。		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	100%			
履修上の 留意事項	特になし。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	オリエンテーション	AT見学実習について概要説明		
	2	プロサッカー見学実習	プロの現場、トレーナーの動きについて見学する。		
	3	プロ野球見学実習	プロの現場、トレーナーの動きについて見学する。		
	4	プロバスケットボール見学実習	プロの現場、トレーナーの動きについて見学する。		
	5	プロフットサル見学実習	プロの現場、トレーナーの動きについて見学する。		
	6	病院・治療院実習 1	病院・治療院内のトレーナーの動きについて見学する。		
	7	病院・治療院実習 2	病院・治療院内のトレーナーの動きについて見学する。		
	8	講義実習 1	トレーナー・指導者が講義を実施する。		
	9	講義実習 2	トレーナー・指導者が講義を実施する。		
	10	講義実習 3	トレーナー・指導者が講義を実施する。		
	11	講義実習 4	トレーナー・指導者が講義を実施する。		
	12	講義実習 5	トレーナー・指導者が講義を実施する。		
	13	講義実習 6	トレーナー・指導者が講義を実施する。		
	14	講義実習 7	トレーナー・指導者が講義を実施する。		
15	講義実習 8	トレーナー・指導者が講義を実施する。			



2023年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー 学科  
AT・MT・PH コース

授業科目 (科目ID)	トレーナー総合実習		担当教員  (実務経験)	土岐 政義  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> アスレティックトレーナー	
対象年次・学期	1年・集中		必修・選択区分	必修	単位数 2単位
授業形態	実習		授業回数(1回90分)	30	時間数 60時間
授業目的	トレーナー現場に帯同し、必要に応じて検査・測定と評価が出来ることを目的とする。				
到達目標	トレーナー現場で検査・測定と評価を実施し、選手に説明出来ることを目標とする。				
テキスト・ 参考図書等	公認ATテキスト				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	「トレーナー実習報告書」の提出をもって、活動状況を確認、評価を判定する。		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	100%			
履修上の 留意事項	特になし。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	トレーナー評価実習 1	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。		
	2	トレーナー評価実習 2	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。		
	3	トレーナー評価実習 3	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。		
	4	トレーナー評価実習 4	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。		
	5	トレーナー評価実習 5	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。		
	6	トレーナー評価実習 6	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。		
	7	トレーナー評価実習 7	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。		
	8	トレーナー評価実習 8	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。		
	9	トレーナー評価実習 9	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。		
	10	トレーナー評価実習 10	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。		
	11	トレーナー評価実習 11	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。		
	12	トレーナー評価実習 12	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。		
	13	トレーナー評価実習 13	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。		
	14	トレーナー評価実習 14	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。		
15	トレーナー評価実習 15	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。			



